

超音波探傷試験 III 問題集 2019 正誤表 (Ver. 2)

2022年6月2日

頁	章	行, 問題番号	誤	正
54	2	問 2.5.1	c) 音軸上に小さいきずがあるときのエコー高さの距離特性は, 振動子の音軸上の音圧の距離特性の2乗に比例する。	c) 音軸上に小さいきずがあるときのエコー高さの距離特性は, 振動子の音軸上の音圧の距離特性に比例する。
65	3	問 3.1.5	本文2行目 ・・・探触子を用いて, 水浸法で探傷する・・・	・・・探触子を用いて, 全没水浸法で探傷する・・・
99	3	問 3.3.36	a) UOE 鋼管の溶接部に発生するきずには, 割れ, 溶込み不良, ブローホール, スラグ巻込みがある。	a) UOE 鋼管の溶接部に発生するきずには, 割れ, 溶込み不良, ブローホール, タングステン巻込みがある。
107	3	問 3.3.11	3.3.11 [3] b	3.3.11 [3] a
109	3	問 3.3.32	3.3.32 a	3.3.32 d
109	3	問 3.3.36	3.3.36 a	3.3.36 c
111	4	問 4.1.4	d) 振動子材料として水晶があるが, 感度が低いため超音波探傷には用いられていない。	d) 振動子材料として水晶があるが, 感度が低いため超音波探傷にはほとんど用いられていない。
167	8	問 8.2.1	a) 定期点検は, 超音波探傷器の所定の性能が維持されていることを確認するために, 1年に1回以上定期的に実施する点検である。 b) 定期点検は, 超音波探傷器の所定の性能が維持されていることを確認するために, 6か月に1回以上定期的に実施する点検である。	a) 定期点検は, 超音波探傷器の所定の性能が維持されていることを確認するために, 点検を行った日の翌月の1日から起算して12か月ごとに定期的に実施する点検である。 b) 定期点検は, 超音波探傷器の所定の性能が維持されていることを確認するために, 点検を行った日の翌月の1日から起算して6か月ごとに定期的に実施する点検である。